

## 地 域 再 生 計 画

### 1 地域再生計画の名称

小山市「水と緑と大地を未来につなぐまち」自然環境再生計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

栃木県小山市

### 3 地域再生計画の区域

栃木県小山市の全域

### 4 地域再生計画の目標

小山市は、栃木県の南部に位置し、面積は171.61平方キロメートル、人口は16万人を突破し、県内第2位の都市となった。市街地を美しい田園地帯が囲み、中央部を思川が流れ、平地林などの豊かな自然環境にも恵まれており、水と緑と調和する、ゆとりあるまちの持続的発展をめざしている。

小山市では、思川を「母なる川」と位置付け、市民が豊かな自然や貴重な水資源に触れる試みを続けてきた。また、思川は全国でもアユの解禁が最も早い川として、更に、サケが遡上する川としても知られているところである。それらの資源を活かし、市をあげて「アユまつり」や「サケまつり」を実施している他、毎年7月第1日曜日には、小山ブランドでもある下野人形に願いを託して流す「思川の流し雛」が行われる等、郷土への愛着と誇りをもてる思川として親しまれている。

しかしながら、人口の増加や生活様式の変化に伴い、污水处理施設整備の遅れている地区では、未処理の生活雑排水が流入し、中小河川や水路の水質汚濁が進み、ほたるやめだかなど身近な生物の生息数が減少しており、これらの貴重な観光資源が失われる恐れがあることから、水質改善に向けた取り組みが求められており、重要かつ緊急に改善しなければならない環境問題となっている。

小山市では、生活排水を処理するために、浄化槽の普及を図るとともに、昭和46年度からは市の中心部で公共下水道事業を、昭和60年度からは中心部周辺の農村地域で農業集落排水事業を展開し、平成16年度末の污水处理人口普及率は、68.8%まで達したものの、県内市部の平均水準(73.8%)にも届かず、依然低迷している状況である。

このため、污水处理施設整備を一層推進し、身近な水路や河川の清流を再生することにより、従来生息していた、ほたるやめだか等を川に取り戻し、市民が「水と緑と豊かな台地」を実感できるような、水辺環境を復活させ、豊かな自然環境と快適な住環境を次世代に引き継ぐまちづくりをめざすと共に、自然環境と調和した快適な住環境の整備により、人と企業の定着をめざす。

(目標1) 污水处理施設の整備促進(污水处理人口普及率を68.8%から80%に向上)

(目標2) 自然環境と調和した快適な住環境の整備により、人と企業を呼び込む

(観光人口を120万人から130万人に増加、事業所数を7,800から8,000に増加)

## 5 目標を達成するために行う事業

### 5 - 1 全体の概要

市内の公共用水域の水質改善を効率よく行うため、市街化区域及びその周辺部を公共下水道事業、農村地域を農業集落排水事業、その他の地域を浄化槽事業で整備することで全市一体的な污水处理施設の整備を図る。

本市は、昭和46年度に公共下水道事業に着手し、現在、市街地中心部を小山処理区、市街地北部を扶桑処理区、市街地南部を思川処理区として位置付け、3処理区合計で、事業計画区域2,302ha、計画人口101,200人の事業認可を取得し事業を実施している。平成16年度末の下水道普及率は49.7%である。

また、農村地域では昭和60年度から農業集落排水事業を実施している。浄化槽事業については要望があった箇所から随時整備を開始し、平成22年度末の污水处理人口普及率を、68.8%から80%に向上するための施設整備を図り、「思川の流し雛」、「アユまつり」、「サケまつり」をひきつづき開催して観光客を誘致し、豊かな自然環境と快適な住環境を次世代に引き継ぐまちづくりを目指す。

### 5 - 2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

#### (1) 污水处理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

- ・公共下水道-----平成17年9月に事業認可

#### [事業主体]

いずれも小山市

#### [施設の種類]

- ・公共下水道
- ・浄化槽(個人設置型)

#### [事業区域]

- ・公共下水道 小山市 扶桑処理区(羽川地区)
- ・浄化槽 小山市の全域(ただし、公共下水道、農業集落排水事業地区を除く)

#### [事業期間]

- ・公共下水道 平成18年度~平成22年度
- ・浄化槽 平成18年度~平成22年度

#### [整備量]

- ・公共下水道 200~400 21,000m
- ・浄化槽 1,400基

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり。

公共下水道 羽川地区で3,400人、浄化槽(個人設置型) 4,200人

## [事業費]

公共下水道	事業費	872,000 千円 (うち、交付金 436,000 千円)
	単独事業費	759,600 千円
浄化槽 (個人設置型)	事業費	539,985 千円 (うち、交付金 179,995 千円)
合計	事業費	1,411,985 千円 (うち、交付金 615,995 千円)
	単独事業費	759,600 千円

### 5 - 3 その他の事業

「水と緑と大地を未来につなぐまち」自然環境再生計画を達成するため、以下の事業を行うものとする。

#### 「ほたるの館」

かつての「ほたる大國小山」をよみがえらせるべく、「ほたるの館」の整備を行い、自然環境問題について啓蒙活動を実施している。

#### 「桜の里親制度」

思川堤防に「桜の里親制度」による桜堤整備事業を行っている。思川筋を、「歴史と水と緑と大地」の回廊として、歴史を生かした市民の憩いの場、総合学習の体験の場として整備を進めていく。

### 6 計画期間

平成18年度～22年度

### 7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標に照らし、小山市において状況を調査、評価し公表する。

### 8 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし。